

高等学校 令和6年度 (2学年用) 教科 国語 科目 古典探究

教科: 国語 科目: 古典探究 単位数: 4 単位

対象学年組: 第 2 学年 A 組~ F 組

使用教科書: (数研出版「古典探究」(古探711))

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】 実社会に関わりながらそれを向上させるために必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的思考力および他者との関わりの中での表現力、想像力やコミュニケーション力を深める。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値を深く認識し、自己を継続的に向上させながら言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 古典探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようになる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 説話/大江山 (十訓抄) 説話/兼盛と忠見 (沙石集) 説話/用枝の筆篋 (古今著聞集) 歌物語/渚の院 (伊勢物語) 【知識及び技能】 文法と語彙 【思考力、判断力、表現力等】 古典の表現を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 積極性	・「大江山……」の歌で、小式部内侍が伝えようとしたことを説明する。 ・『沙石集』の編者が、忠見のあり方をどのように評価しているか説明する。 ・明尊が「今夜の纏頭は他人に及ぶべからず。用枝一人にあるべし」と言った理由を説明する。 ・それぞれの歌について修辞法を確認する。	【知識・技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に説話が示す教訓性について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて	○	○	○	12
B 歌物語/をばすて山 (大和物語) 随筆(一)/大納言殿参り給ひて (枕草子) 日記文学(一)/東路の道の果て (更級日記) 物語/光源氏誕生 (源氏物語) 【知識及び技能】 文法と語彙 【思考力、判断力、表現力等】 古典の表現を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 他者理解	・「男」が「をば」を捨てるに至った経過を整理する。 ・作者以外の女房たちが、その時々状況に応じてどのような行動をとったか、順にまとめる。 ・物語を読みたいと思う気持ちが表れている表現を順に抜き出す。 ・帝・桐壺の更衣・弘徽殿の女御の人物像について考える。	【知識・技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 男の心情変化について粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
C 随筆(二)/ゆく河の流れ (方丈記) 随筆(二)/花は盛りに (徒然草) 歴史物語/花山天皇の出家 (大鏡) 軍記物語/忠度の都落ち (平家物語) 【知識及び技能】 特殊な文法と語彙 【思考力、判断力、表現力等】 古典の表現を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 他者理解	・「無常」に対する作者の考えについて、説明する。 ・本文で述べられている「月の見所」「花の見所」をまとめる。 ・花山天皇と道兼の人物像をまとめる。 ・忠度が俊成のもとを訪れた際の、俊成とその家人との反応の違いについて説明する。	【知識・技能】 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えを説明しようとしている。	○	○	○	16
D 故事/ズームアップ 訓読の歴史 漢詩/ズームアップ 漢詩を作ってみよう 史伝/鴻門之会・項王自刎 【知識及び技能】 訓読の技術 【思考力、判断力、表現力等】 漢文の表現を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 他文化理解	・訓読で教材を朗読する。 ・音読みによる直読で教材を朗読する。 ・口語訳で教材を朗読する。 ・三種類の朗読から受ける印象の違いを話し合う。 ・単元内の教材の学習を踏まえて、漢詩の規則を確認する。 ・「春」をテーマとした七言絶句を作る。	【知識・技能】 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解している。 【思考・判断・表現】 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 朗読から受ける印象の違いを話し合う活動において、積極的に話し合いに参加している。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
E 軍記物語/壇ノ浦 (平家物語) 日記文学(二)/なべて世の (建礼門院右京大夫集) 和歌・歌謡・俳諧/やまと歌は・六歌仙 (古今和歌集仮名序) 和歌・歌謡・俳諧/和歌・歌謡 【知識及び技能】 文法と語彙 【思考力、判断力、表現力等】 古典の表現を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 協調性	・本文の解釈を踏まえ、地の文と各登場人物に役割を分けて朗読劇をする。 ・『建礼門院右京大夫集』と『平家物語』で描かれる平資盛の人物像や逸話について調べる。 ・作者は六歌仙の歌をそれぞれどのようにたとえて評価しているか、整理し、考える。 ・好きな歌を選び、鑑賞文を書く。また、作者やその歌が作られた時代について調べる。	【知識・技能】 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に登場人物の行動や心情をとらえながら本文を解釈し、学習課題に沿って朗読劇に取り組もうとしている。	○	○	○	12

第二学期	F 随筆/鳥の空音(枕草子) 日記文学/父の離京(蜻蛉日記) 日記文学/土御門邸の秋(紫式部日記) 日記文学/薫る香に(和泉式部日記) 【知識及び技能】文法と語彙 【思考力、判断力、表現力等】古典の表現を理解する 【学びに向かう力、人間性等】共感力	・行成は清少納言のどのようなところを称赞したのか、整理して説明する。 ・「君をのみ……」「我をのみ……」の二首の歌はどのような関係になっているか、説明する。 ・「女郎花……」と「白露は……」の二首の歌はそれぞれどのようなことを伝えようとしているのか、考える。 ・作者が「薫る香に……」の歌を帥宮に贈ったのはどういう気持ちからか、考える。	【知識・技能】 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に登場人物の行動や心情をとらえながら本文を解釈し、学習課題に沿って朗読劇に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	G 日記文学/鎌倉への出立(十六夜日記) 物語/車争ひ(源氏物語) 物語/須磨(源氏物語) 物語/明石の姫君入内(源氏物語) 【知識及び技能】文法と語彙 【思考力、判断力、表現力等】古典の機微を理解する 【学びに向かう力、人間性等】他者理解	・第一段落を読んで、作者が鎌倉への出立を決意するに至った心情を書き出す。 ・本文中から、光源氏に対する六条御息所の思いが読み取れる箇所をあげて、その心情を説明する。 ・白居易の詩の引用が、それぞれどのような意味を与えているか、調べてまとめる。 ・直接に会った紫の上と明石の君は、互いをどのように見たのか、整理する。	【知識・技能】 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に登場人物の行動や心情をとらえながら本文を解釈し、学習課題に沿って朗読劇に取り組もうとしている。	○	○	○	16
H 文章/売油翁 逸話/ズームアップ『蒙求』の受容 【知識及び技能】文法と語彙 【思考力、判断力、表現力等】道家の思想を理解する 【学びに向かう力、人間性等】他者理解	・単元内の教材の学習を踏まえて、道家思想が後世の文章に影響を与えた経緯を学習する。 ・単元内の教材の学習を踏まえて、『蒙求』が日本で読み継がれてきた経緯を学習する。	【知識・技能】 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「売油翁」の末尾一文の意味について、グループでの話し合いにおいて積極的に意見を発表している。	○	○	○	16	
定期考査			○	○		1	
第三学期	I 物語/紫の上の苦悩(源氏物語) 物語/柏木と女三の宮(源氏物語) 物語/紫の上の死(源氏物語) 物語/浮舟(源氏物語) 【知識及び技能】文法と語彙 【思考力、判断力、表現力等】古典の表現を理解する 【学びに向かう力、人間性等】他者理解	・この文章で語られる紫の上の苦悩とはどのようなものか、説明する。 ・この場面での女三の宮の女房たちの行動とそのありようをまとめる。 ・紫の上の死がどのように描かれているか、まとめる。 ・「橘の小島の色は……」の歌の修辭法を説明し、この歌に込められている浮舟の気持ちと、この歌を聞いた匂宮の感想とを説明する。	【知識・技能】 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に登場人物の行動や心情をとらえながら本文を解釈し、学習課題に沿って朗読劇に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	J 物語/継母の策謀(住吉物語) 歴史物語/貫之と躬恒(大鏡) 歴史物語/道真と時平(大鏡) 歴史物語/村上天皇と安子(大鏡) 【知識及び技能】文法と語彙 【思考力、判断力、表現力等】古典の表現を理解する 【学びに向かう力、人間性等】他者理解	・姫君を入内させることに関し、継母はどのように考えているか。その理由もあわせて考える。 ・本文では醍醐天皇をどのような人物として描いているのか考える。 ・本文中の和歌と漢詩に込められた道真の心情を整理する。 ・村上天皇の安子に対する思いを考える。	【知識・技能】 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 継子いじめの物語について積極的に調べ、学習課題に沿ってまとめようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
K 文章/ズームアップ 唐宋八大家の文章 【知識及び技能】修辭と語彙 【思考力、判断力、表現力等】日本文化への影響を理解する 【学びに向かう力、人間性等】他者理解	・「ズームアップ 唐宋八大家の文章」の本文を踏まえて、漢文の散文の修辭と日本文化への影響について学習する。	【知識・技能】 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「捕蛇者説」「師説」に用いられた修辭や本文構成を粘り強く分析しようとしている。	○	○	○	7	
						合計	156